

ビル用セメント系下地調整材
ロイヤルミックス #10

(粉末樹脂混入タイプ)

～健康的で安心な自然素材を絶妙にブレンドしたプレミックス材～



JIS A 6916

認証番号

岡山工場：TC 06 08 016

京都第2工場：TC 05 21 001

[ロイヤルミックス#10]

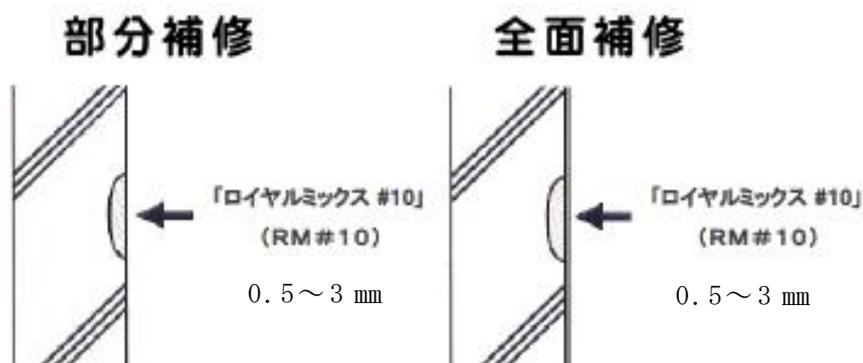
日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0710048
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

〔目 的〕

この施工マニュアルは、「ロイヤルミックス#10」(RM#10)をコンクリート下地に厚さ0.5～3mm程度で塗り付け、ペイント塗装、仕上塗材(吹付け、ローラー塗りなど)の下地となるように仕上げる内外装工事に適用する。

〔用 途〕

コンクリート・モルタル下地薄塗り補修



〔規格・法令〕

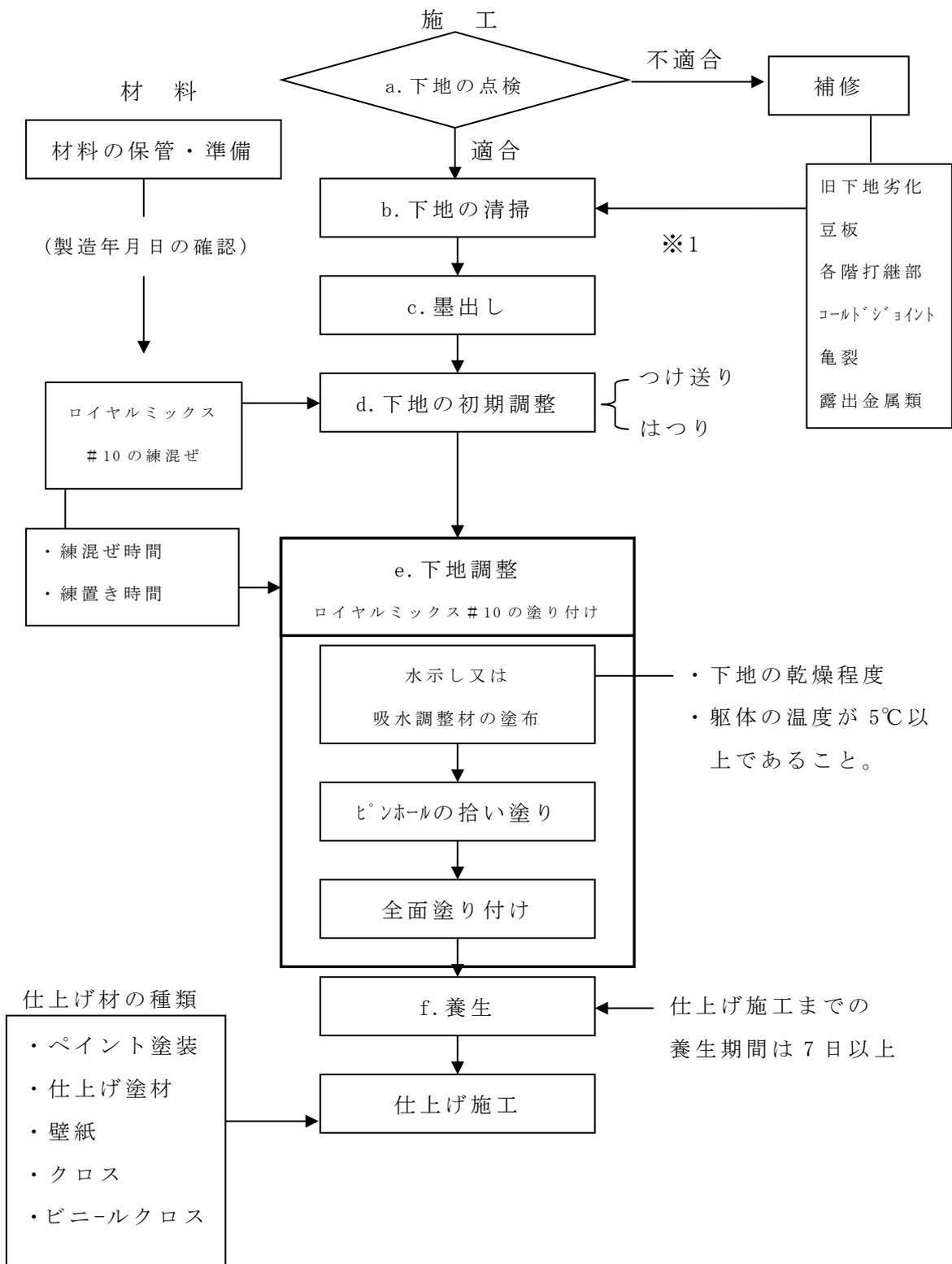
「ロイヤルミックス#10」は、JIS A 6916(建築用下地調整塗材)におけるC-2規格のJIS表示認証製品です。

〔調 合〕

ロイヤルミックス#10	25 kg/袋
上水道水	約 8 ℓ

練上がり量	:	約 20 ℓ
標準塗り厚	:	約 0.5～3 mm
(JIS 規定塗り厚)	:	1～3 mm (区分：C-2)
標準施工面積	:	約 10 m ² (2 mm厚/1袋)

〔施工工程〕



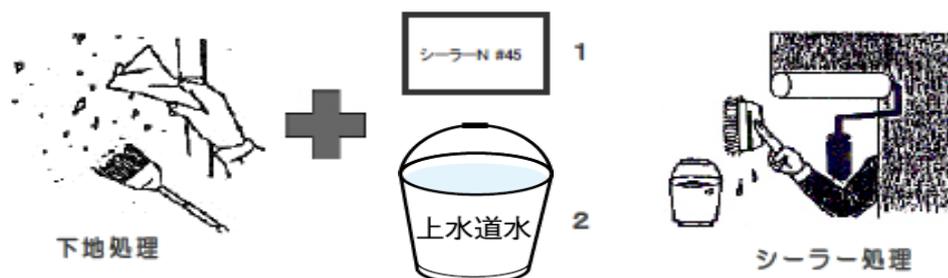
※1：塗装合板型枠下地は高压洗浄を推奨します。

○ALCへの施工については「ALC下地の施工方法」を参照下さい。

[施工方法]

① 下地処理

- 1) 下地をよく点検して下地コンクリート面のレイタンス、埃、塵、油分を取り除き十分清掃して下さい。
尚、塗装合板にて型枠を施工された場合は脱型後、塗装材などが壁面に残着していると剥離などの原因になりますので高圧洗浄機等による清掃を推奨致します。
- 2) 下地清掃後、「シーラーN #45」 3倍希釈液の吸水調整材で塗布し乾燥して下さい。
- 3) 雨漏れの原因となるジャンカ、豆板、コールドジョイント部はあらかじめ「シーラーN #45」 5倍希釈液で練混ぜた「ロイヤルミックス #30・#300」で塗り付け補修をして下さい。



② 練混ぜ

- 1) 標準水量の上水道水をバケツ他ミキサー等の練混ぜ容器にとり、「ロイヤルミックス #10」を容器に加えながら練混ぜ、適度な軟度に調整して使用して下さい。

※固まりなどのない均一なモルタルにするため、少なくとも2分以上は練混ぜて下さい。

※規定水量以上の水で練混ぜると、品質基準の性能維持出来ない場合があります。



③ 塗り付け作業

1) あらかじめ下地処理した施工面に、必ず「しごき塗り」を力をかけて下地に約0.5～1mm厚程度すり込むように塗り付けを行い、ワントンポ間を空けてから、所定の厚さに塗り付けて下さい。

尚、塗り厚が3mm以下の場合でもモルタルのエア膨らみ、浮き防止、ダレ抑制になりますので[しごき塗り]は必ず励行して下さい。

2) 乾燥の激しい場合は、夏期施工翌日・冬期2日以後に散水養生を行って下さい。



しごき塗り



ワントンポ間を空けて、
(少し締り後)の塗り付け

④ 養生

1) 施工時の養生

① 寒冷期には、暖かい日を選んで施工をする。やむを得ず気温が5℃以下の時に施工する場合は、適切な保温対策を講じる。夜間の気温低下による凍害の恐れがある場合は作業を早めに切り上げ、現場管理者との協議の上、十分な養生を行って下さい。

② 夏期に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するためシート等で覆うなど適切な対策を講ずる。

③ 降雨・強風あるいは周辺のほかの作業により、塗り付け作業に支障をきたす恐れのある場合は、作業を中止する。

2) 施工後の養生

① 塗り付け後、早期に乾燥する恐れのある場合は、通風・日光を避けるようシート掛け養生など、適切な乾燥防止策を講ずる。

② 冬期は、ロイヤルミックス#10塗り付け後、早期に降雨・降雪に遭うと白華発生の恐れがあるので、シート掛け養生など、適切な防止策を講ずる。

尚、白華が発生した場合は、下記の処置を実施する。

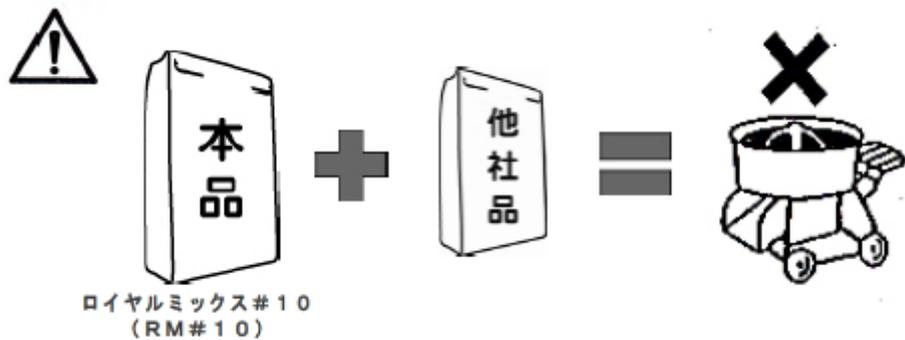
- デッキブラシ、ワイヤーブラシなどで、できるだけ白華を除去する。この場合、水洗いは、白華を再発する恐れがあるので避ける。
- 清潔な乾布で、残留する粉が手に付着しなくなるまで清掃する。

③仕上塗材を施工するまでの養生期間は。通常1週間、冬期で2週間以上を目安として下さい。

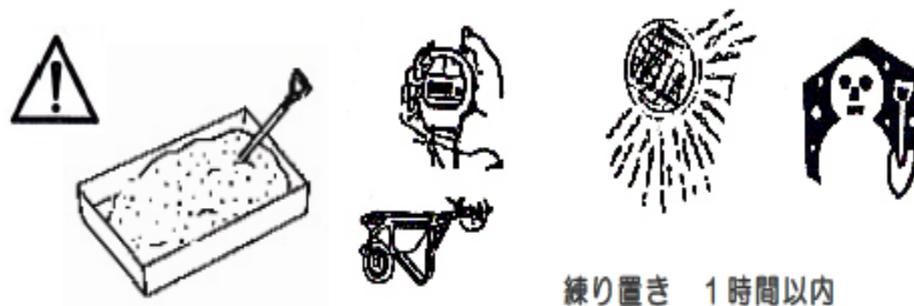


[注意事項]

1) ロイヤルミックス#10は既調合品ですので他の材料を一切混入しないで下さい。



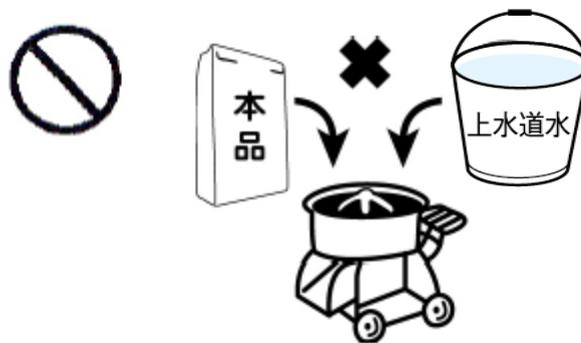
2) 練混ぜた材料は、練置時間として1時間以内が目処です。



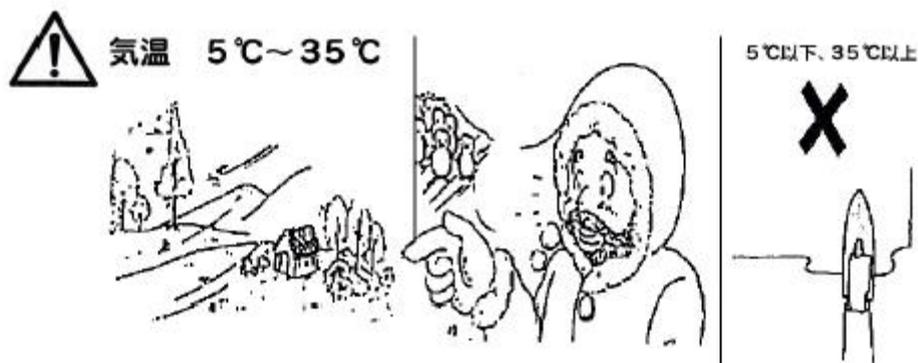
- 3) 塗り厚が薄く乾燥が著しい場合は、夏期施工翌日、冬期2日以後に散水養生を十分に行ってください。



- 4) 練足し、練戻しは避けて下さい。



- 5) 気温が5℃以下、35℃以上になる恐れのある場合は、施工を避けて下さい。



[A L C 下 地 の 施 工 方 法]

① 下地処理

- ・ロイヤルミックス#10の塗布前にALCパネルの取付け状態の確認を行ってください。（ALCパネルの取り付け具合、水平、垂直、出入りなどの良否の確認）

塗り付けに支障がある場合は、施工監理者と協議のうえ適切な処置を講じてください。

- ・ALCパネル表面のほこり、粉末などを刷毛またはスプレーガン等で入念に清掃し、除去して下さい。

② 吸水調整材の塗布

- ・ALCパネルの吸水調整の為、下地清掃後にシーラー#45の5倍希釈液（シーラー#45：1 + 清水：4）を刷毛やローラーなどで塗り残しのないように均一に2回塗布して下さい。（1回目の塗布量目安250g/m²）

1回目の吸水調整材が乾燥後、2回目の吸水調整材（5倍希釈液）を塗布して下さい。（2回目の塗布量目安200g/m²）

- ・ALCパネル表面が著しく乾燥している場合以外でも、2回目の吸水調整材塗布を行って下さい。

③ 練混ぜ

「施工方法」の②練混ぜを参照下さい。

④ 塗り付け

- ・最初にコテ圧をかけながら、下地にすり込むようにしごき塗り（0.5～1m）を行い、ワンテンポ遅らせてから（少し締まらせてから）所定の厚さに塗り付けて下さい。その際、ALCパネル面が完全に隠れるようにして下さい。
※しごき塗りはモルタルのエア膨らみや浮き防止、ダレ抑制にもなりますので必ず励行して下さい。

- ・塗り付け後、水引具合を見計らって押さえ仕上げをして下さい。
- ・塗り付けが薄いと吸水率が高くなり、後工程に支障をきたす可能性があります。

⑤ 養生

「施工方法」の④養生を参照下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。
2. 練混ぜた材料は夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使用して下さい。練足しや加水しての練戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が 5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS 5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. コンクリートブロックに施工される場合は各営業店にご相談下さい。
8. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・ 取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取り扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水をよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や練混ぜ材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運



ISO 9001

本 社 〒546-0003
大阪市東住吉区今川3丁目12番4号
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133
URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004
西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

改訂 2021/09 第7版